

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	農業体験事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計				担当課	農政課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	農地係			
	基本施策・展開方向	5 産業・交流		19 農業		4 農業にふれあえる機会を充実します					
	予算区分	款	6	項	1	目	3	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画	農業体験事業実施要領									
	目的	何・誰を対象に	市内在住の農業の技術を取得したい方や新規就農者を目指している方。								
		どのような状態にするのか	市民に野菜栽培講座や野菜作りの体験を通し農作業の基本的な知識の習得と農業への興味や関心を高めてもらうとともに、新規就農者の育成に努める。								
	内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度</p> <p>○農作業経験のない多くの市民に、農作業に触れる場所や機会を提供し、栽培方法や施肥、病害虫防除に関する基本的な知識を講義を通じて習得し、また、習得した知識を農場で実践し、土づくりから作物収穫までを体験することにより、農業への興味や関心を持ってもらう。</p> <p>○実習区画は合計20区画あり、通年コース(20名定員)を実施する。通路等共用部分のほかキャンセル等による空き区画も含め委託先(JA)が全体を管理し、会議室や講師の手配、受講生の対応のほか修了生の相談に応じる等のフォローも行っている。</p> <p>(1)野菜づくり講座 1年コースの講座開催 ・実施場所:JA尾張中央東部営農センター会議室及び実習農場(上末東山地内) ・講座修了後も希望者には指導援助を行う。</p> <p>(2)野菜かんたん栽培講座 手軽に野菜の栽培方法学びたい方を対象に年2回開催(1回:2時間程度) ・実施場所:小牧市役所本庁舎601会議室(定員は会場の都合による)</p> <p>◆28年度直接経費の内訳 11節 消耗品費等(14千円) 13節 委託料(1,779千円)</p> <p>◆29年度直接経費の内訳 11節 消耗品費等(98千円) 13節 委託料(1,797千円)</p>									
	受益者負担	有 1人あたり10,290円、受益者負担総額205,800円(10,290円×20人)									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,096	2,900	1,793	1,895	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	562	562	562	562
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	2,658	3,462	2,355	2,457		
対前年比	%		130.2	68.0	104.3			
財源	一般財源	千円	2,503	3,328	2,149	2,385		
	国・県支出金	千円						
	その他財源	千円	155	134	206	72		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	講座開催数		回	目標	32	32	32
実績				32	32	32	
			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	生産した作物を出荷するようになった受講者数	人	目標	—	—	2	2
実績			—	—	1		
農業体験事業の参加者数	人	目標	120	120	100	20	
		実績	157	90	74		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	春夏コースと秋冬コースの2コースをより実践的にするため、通年(1年)コースに変更した。 また、実習を伴わず気軽に参加できる講座も年に2回無料で開催した。					
		事業実施における課題	実習を伴う有料の通年コース講座と実習はなく講座のみの無料講座を開催しているが、無料講座については、参加者の農業の知識レベルがバラバラのため講座内容の選定が難しい。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	農業体験を通じ知識・技能を習得し、就農への意欲を高め新規就農に繋げられるよう講座を行っている。今年度は講座の受講者が栽培した野菜を小牧市農業祭品評会へ出品する旨計画している。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	70	千円	予算区分	13	節	節
	判定理由・削減内容	出荷ができる農業者の育成事業の運営方法等を見直し、委託費の削減を図る。						
	30年度以降の実施内容	将来的に出荷ができる農業者を育成するため、年間を通じた農業体験講座を継続し実施する、また受講者は小牧市農業祭品評会へ自身が栽培した野菜を出品できるよう栽培技術の習得を目指す。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。